

令和 7 年

第 4 回 教育委員会 定例会

# 議 事 録

佐 渡 市 教 育 委 員 会

令和7年 第4回 **定例** 臨時委員会 議事録

委 員 会 日 程		会 場
開会日時	令和7年4月23日 午前 <b>後</b> 2時06分	佐渡島開発総合センター 2階 第3会議室
閉会日時	令和7年4月23日 午前 <b>後</b> 4時38分	
延会日時	令和 年 月 日 午前・後 時 分	
出 席 者	欠 席 委 員	会 議 録 署 名 委 員
教育長 香遠 正浩		加藤 雄一郎
1番委員 加藤 雄一郎		瀧川 紀子
2番委員 瀧川 紀子		
3番委員 岩崎 奈美		
4番委員 後藤 まき子		
議 案 説 明 の た め 出 席 し た 職 員		
教育次長	笠井 貴弘	学校教育課 管理主事 野口 幸雄
教育次長補佐 兼 学校教育課長	計良 好昭	社会教育課 課長 鶴間 基宏
教育総務課 課長	齋藤 壮一	中央図書館長 村岡 直
課長補佐	川上 忠子	観光文化スポーツ部
総務係主任	小林 唯美	文化スポーツ課長 宇治 美徳
傍 聴 人	有・ <b>無</b>	
報告の 要旨	「議事の概要」のとおり	

会議で行った選挙の結果	
なし	
会議に付議した事件の題目	
議案第 23 号	学校医（耳鼻科）の担当校の変更について
議案第 24 号	佐渡市図書館協議会委員の委嘱について
議案第 25 号	学校医（歯科）の委嘱に係る専決処理について
議案第 26 号	学校医（耳鼻科）の委嘱に係る専決処理について
議案第 27 号	学校薬剤師の委嘱に係る専決処理について
議案第 28 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 29 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 30 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 31 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 32 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 33 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 34 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 35 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 36 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 37 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 38 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 39 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 40 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 41 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 42 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 43 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 44 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 45 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 46 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 47 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 48 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 49 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 50 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 51 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 52 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 53 号	佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について
議案第 54 号	佐渡市不登校児童生徒訪問指導員の委嘱に係る専決処理について
議案第 55 号	佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について
議案第 56 号	佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について

- 報告事項
- 1 学校情報について
  - 2 令和7年度佐渡市地域クラブ活動について
  - 3 前期図書館ビジョン実施計画評価について
  - 4 後期図書館ビジョン実施計画について
  - 5 文化スポーツ課の組織概要、予定事業について
  - 6 佐渡市学校給食食材費支援補助金交付要綱の一部改正について
  - 7 その他

次回会議開催日

採決の結果及び可否の数を計算したときは、その数		
なし		
請願、陳情	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有の場合、別紙のとおり
その他必要と認めた事項		
特になし		

【議事の概要】

香遠教育長	午後 2 時 6 分開会 ただ今から令和 7 年第 4 回佐渡市教育委員会定例会を開催いたします。
	はじめに、日程第 1 「議事録署名委員の指名について」です。本日の署名委員は、教育委員会会議規則第 18 条の規定により、加藤委員と瀧川委員の 2 名を指名いたします。よろしく申し上げます。 次に、日程第 2、議案第 23 号から日程第 36、報告事項 1 までは人事並びに個人情報に関する内容が含まれていることから、教育委員会会議規則第 7 条第 1 項の規定により秘密会にしたいと思っております。これに賛成する委員の挙手をお願いします。
委員全員	全員挙手
香遠教育長	全員一致であります。よって、議案第 23 号から報告事項 1 までは秘密会とすることに決定いたしました。これより、解除されるまでの間、秘密会とします。 <b>【秘密会】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 議案第 23 号「学校医（耳鼻科）の担当校の変更について」 計良学校教育課長が説明し、原案どおり可決された。</li><li>・ 議案第 24 号「佐渡市図書館協議会委員の委嘱について」 鶴間社会教育課長が説明し、原案どおり可決された。</li><li>・ 議案第 25 号「学校医（歯科）の委嘱に係る専決処理について」 計良学校教育課長が説明し、原案どおり承認された。</li><li>・ 議案第 26 号「学校医（耳鼻科）の委嘱に係る専決処理について」 計良学校教育課長が説明し、原案どおり承認された。</li><li>・ 議案第 27 号「学校薬剤師の委嘱に係る専決処理について」 計良学校教育課長が説明し、原案どおり承認された。</li><li>・ 議案第 28 号「佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について」 計良学校教育課長が説明し、原案どおり承認された。</li><li>・ 議案第 29 号「佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について」 計良学校教育課長が説明し、原案どおり承認された。</li><li>・ 議案第 30 号「佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について」 計良学校教育課長が説明し、原案どおり承認された。</li><li>・ 議案第 31 号「佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について」 計良学校教育課長が説明し、原案どおり承認された。</li><li>・ 議案第 32 号「佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について」 計良学校教育課長が説明し、原案どおり承認された。</li><li>・ 議案第 33 号「佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について」 計良学校教育課長が説明し、原案どおり承認された。</li><li>・ 議案第 34 号「佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について」 計良学校教育課長が説明し、原案どおり承認された。</li><li>・ 議案第 35 号「佐渡市学校運営協議会委員委嘱に係る専決処理について」</li></ul>



<p>香遠教育長 委員全員 香遠教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 55 号「佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について」 齋藤教育総務課長が説明し、原案どおり承認された。</li> <li>・ 議案第 56 号「佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について」 齋藤教育総務課長が説明し、原案どおり承認された。</li> <li>・ 報告事項 1 「学校情報について」 野口管理主事が説明する。 委員の皆さん、ここで休憩が必要でしょうか。必要であれば取ります。 大丈夫です。 では続きます。報告事項 2 「令和 7 年度佐渡市地域クラブ活動について」 事務局の説明を求めます。 鶴間社会教育課長</li> </ul>
<p>鶴間社会教育 課長</p>	<p>それでは報告事項 2 「令和 7 年度佐渡市地域クラブ活動について」、資料をご覧くださいと思います。まず、資料にはないですが、この佐渡市の地域クラブ活動につきましては、国が進める部活動改革としての部活動地域移行の推進を受けまして、佐渡市の方では、令和 5 年度に佐渡市地域クラブ活動推進計画という 3 年間の計画を立ち上げまして、まずは休日の部活動を地域クラブ活動に移行していくということで始めたものです。</p> <p>ちなみに「部活動地域移行」という文言ですが、国の方で昨年、議論をした結果、今年度からは「部活動地域展開」と変更になっております。議論の中で「地域移行」という言葉がインパクトはありましたが、学校が全く関わらないように部活動を地域に横流しするイメージに捉えられるような意見がありまして、実際には学校も含めた地域全体で部活動の代わりを担っていくものという主旨であることから「地域展開」と呼ぶようになっております。</p> <p>そのことから、今年度から社会教育課に新設された「部活動地域展開」に係る係名も部活動地域展開係となっております。</p> <p>話がそれましたが、報告事項 2 の「令和 7 年度佐渡市地域クラブ活動実施プラン」の資料に基づいて説明させていただきます。上部に記載の目的、目指す子どもの姿というのは、今ほど言いました佐渡市の 3 年間の推進計画にうたわれておりまして、この目的等を踏まえて佐渡市では休日の部活動を地域へ移行展開していくこととして地域クラブ活動を実施してきています。</p> <p>令和 7 年度につきましては、開始後 3 年度目にあたりまして、今年度は月 3 回の週末に拡充して実施するということとなります。具体的な活動内容につきましては、表のとおりになります。活動日は、原則、第 2、第 3、第 4 の土・日の月 3 回の週末となりまして、この地域クラブ活動がある週の学校の部活動については、実施しないということで統一しております。</p> <p>4 月から 5 月中旬にかけては、生徒からの申し込み受付期間となりますので、今年度のスタートは 5 月 24、25 日の週末からとなりまして、令和 7 年度合計のクラブ活動数は全 30 回ということになっております。</p>

<p>香遠教育長</p> <p>瀧川委員</p> <p>香遠教育長</p>	<p>続いて年会費です。年会費につきましては、回数も昨年度より増えていくこともありますので、増額となっております、年間 5,000 円と設定させていただいております。一方で、今年度からエンジョイ型の選択者で年間を通じてではなくて、一部分だけ参加する場合については1回 500 円という会費も設定しております。昨年度までは年会費のみとなっておりますが、運営していく中で、例えばエンジョイ型のスキーだけ申し込んで、他の季節、他の種目は参加しないというような生徒もおられましたので、今年度、年会費も高くなることもありまして、そこに配慮させていただいて1回あたりというものも導入したというところです。</p> <p>その下の表の種目を載せさせていただいております。表の上段の方がスポーツ、それから下段の方が文化として記載してあります。年間通じて、同一種目で活動するスキップ型と呼ばれるものについては、スポーツで6種目、文化で1種目ということで前年度と変わりありません。合計7種目となっております。ただ、参加者数の実態や指導者の都合等によりまして、会場等の変更や増減というものは発生しております。変わった部分は赤字で記させていただいております。それからエンジョイ型につきましては、生徒たちの選択肢が増えるようにということで、生徒アンケート結果なども踏まえまして新種目を追加しております。</p> <p>令和7年度でいきますと、スポーツではボッチャやSEAを活用した野球、バドミントン。文化ではクッキングというようなものを導入しております。あともう一点、ここには記載されておきませんが、今年度からの大きな変更点が一点ありまして、令和7年度からエンジョイ型につきまして、小学校の高学年も参加できるようにさせていただきました。指導者などの地域の方との交流だけではなく、異年齢との交流も進められる活動をとすることで、学校部活動ではできない地域展開のメリットにもなると考えておるところです。</p> <p>このような活動プランに基づきまして、次の2ページから5ページにつきましては、実際に生徒に募集案内としてお渡ししたものになります。今ほどのプランを申込み案内というような形でまとめたものとなっております。細かくはあとでご覧いただきたいと思いますが、中学校につきましては、既に4月10日頃にこの案内を配布済となっておりますし、小学校高学年については、初めてということで、まず校長会で説明してからということで少し遅れて4月18日頃に既に配布をして今、募集を受け付けているということです。現在、申込みが殺到とまではいきませんが、申込み者が増えてきているというような状況です。地域クラブ活動についての報告は以上です。</p> <p>ただ今の説明に対して、質疑等ございますか。</p> <p>瀧川委員</p> <p>ご説明ありがとうございます。年会費のことですが、スタート時は、月に1回で、1,000円スタートで。昨年、年会費…。</p> <p>2,000円ですね。</p>
---------------------------------------	---

<p>瀧川委員</p> <p>香遠教育長 鶴間社会教育 課長</p>	<p>2,000 円でした。それで今回 3 回で、5,000 円。これでだいたい上限と思って聞いていましたが、来年度は、年に 4 回という形になっていきますが、まだ増加する感じはありますでしょうか。</p> <p>鶴間課長</p> <p>年会費についてです。国の方の方針では、基本的にやはり保護者の実費負担とするということがうたわれております。ただ、今、国の方も推進していることで、この補助金を出してくれていますので、それを踏まえて各市町村、実施主体の方で検討することとされております。私どもの推進計画の中でも、基本は実費が原則ではありますが、国の補助等を受けながら、その都度、検討して設定していくことにさせていただいております。</p> <p>今回の 5,000 円は、実際に活動にかかる経費を洗い出した上で、そこに補助金等をいただくわけですが、補助金等をなくした場合の全体の経費というものを出して、それを参加者数で割り返して 1 人あたりの実際の年間金額を出してみました。そうすると約 50,000 円かかる。指導者の謝礼金だとか、用具の購入等も含まれますが、1 人あたり 50,000 円が実際、年間で必要になるという中で、国等の補助を受けていることから、1 割負担程度で抑えようということで、今回 5,000 円に設定させていただいております。</p> <p>今後についてですが、これも計画に基づいて、その都度、検討することで、これ以上、上がらないと言うことは今現在、言えない状況ではあります。</p> <p>また、民間クラブとの兼ね合いもありまして、民間クラブの方って、月あたりで 5,000 円とか、もっと高いところもあるというようなところで、市があまり安くしすぎると困るというような話も実際受けています。地域クラブにばかり行って、自分の個人的にやってるクラブに来てもらえないとか、そういう意見もありますので、その辺りも踏まえて、やはり年間経費等を算出しながら、その都度、考えていきたいと考えております。</p> <p>それからもう一点、国の方で今、次期計画、令和 8 年度以降どうするかという計画を現在作っております。その中でもやはり各実施主体、市町村、県からの要望として、この年会費というか会費、保護者負担の金額について明確に示してほしいという意見を受けているということを知っております。国の方も何らかの形で、今年度中にその辺りを示したいということを知っておりますので、どのような形で示されるのか今の段階では分かりませんが、また国の方針も踏まえて、来年度以降、考えていきたいというふうに考えてます。以上です。</p> <p>瀧川委員</p> <p>香遠教育長</p> <p>瀧川委員</p> <p>香遠教育長 鶴間社会教育</p> <p>はい。ありがとうございます。いいですか。続けて。</p> <p>どうぞ。</p> <p>すみません。500 円でエンジョイ型の方は 1 回、単独で参加できる場合がありますが、その場合の保険料というのは、追加で保険料がかかるのでしょうか。</p> <p>鶴間課長</p> <p>保険料につきましては、今、国の補助金を受けている中で、その補助対象</p>
--	--

課長	<p>経費として認められていることから、市の方で全員分を掛けます。なので、1回だけ参加した場合、500円で済みますが、その方についても補助金を活用しながら保険を掛けさせていただくということになっております。</p>
瀧川委員 香遠教育長 瀧川委員	<p>はい。ありがとうございます。追加で…。</p> <p>はい。続けてどうぞ。</p> <p>料金の今後のことで、スタートはこれで発表されているので構いませんが、やはり4回になってきて、あと季節だけ、例えばマリンスポーツだけとか、冬のスキーだけ楽しみたいって、バランスが取れなくなる時には、年会費というよりも、1回のコースで、その種目ごとに変わってもやむを得ないと思います。例えば、クッキングやイラストやっている人たちと料金が一緒で、ずっとこの後も数が増えてきたり、バランスが取れなくなってきた時に、特殊なお金がかかるスポーツとか、お金がかかる人数、それだけ教えるにあたってスタッフも数必要になってくるじゃないですか。スキーとかマリンスポーツになってくると、多分、受ける側も、この種目は高くなるんだ、この関係は高くなるんだっていうバランスが取れてくると思うので、来年度以降、決める時には、まだ人数もね、今はポンポンっとそんなにまとまった人数来てないので多分、全体のバランスで、数字をはじいてると思いますが、今後、増えてきた時には、そういった特殊なものでお金がかかるものに関しては、理解いただいて参加いただくってことでも安心してその分、楽しんでもらえるってことで納得出来ると思います。その辺、来年度以降、考える時に頭においていただければと思います。ありがとうございます。</p>
香遠教育長 鶴間社会教育 課長	<p>鶴間課長</p> <p>ありがとうございます。おっしゃるとおり会費、実際に細かく算出していけば、それぞれのクラブで当然異なってきます。現在、かなり多くの種目を取り入れながらやっていると途中で、私どもの事務的な面も考えながら、年会費制ということでスタートしたところがあります。ただ、今のご意見、もっともというところもありますので、今後の次期の計画、佐渡市としても作っていく必要がありますので、その中で参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。</p>
香遠教育長 岩崎委員	<p>その他、いかがでしょう。</p> <p>岩崎委員</p> <p>すみません。差し支えなければ、指導者の謝金のことで、お尋ねしたいのですが、月3回ってことで、指導者の謝金自体は、月ごとですか。それとも年間ですか。まずそれ一点と。</p> <p>あとは月ごと、年間でもいいのですが、1回あたりの指導者へ支払われる謝金の額がどの程度なのか。これだけのクラブ活動があるので、年会費5,000円って言っても大変なのかなって思いますが。その辺教えていただければと思います。</p>
香遠教育長 岩崎委員	<p>市議会の定例会でも問われたことでもあります。お答えください。</p> <p>はい。お願いします。差し支えない範囲でお願いします。</p>

鶴間社会教育 課長	<p>すみません。一点目の指導者の謝金についてです。今、実施主体が佐渡市教育委員会ということで、指導者に対しては教育委員会から謝金を払っているという状況でありまして、実際には月ごとになっております。</p> <p>ただし、謝金の額は、時間単位、時給のようなイメージで払っておりまして、毎回、活動日に実際に活動に要した時間を報告していただきまして、2時間なら2時間。3時間なら3時間というような形で、その時給単価にかけまして、それを月ごとにまとめたものでお支払いさせていただいているところです。</p>
岩崎委員 鶴間社会教育 課長	<p>あの謝金の額なんです。1時間あたり…。 時給でいいです。</p>
香遠教育長 鶴間社会教育 課長	<p>時給が…。 1,630円です。 1,630円になっております。</p>
岩崎委員 香遠教育長 岩崎委員	<p>はい。すみません。もう一点。 どうぞ。 先ほど、補助金って話がありましたが、こちらの補助金は関係ないですか、謝金に関して。教育委員会の方で支払われてるということでしょうか。</p>
香遠教育長 鶴間社会教育 課長	<p>鶴間課長 補助金について、すみません。謝礼金につきましても補助金の対象になっておりますので、国からその負担をいただいたものと佐渡市でも負担するもの。それを足したもののの中から指導者へ払っているということになります。</p>
岩崎委員 後藤委員 香遠教育長 後藤委員	<p>はい。ありがとうございます。 すみません。 後藤委員 今ほどの謝金についてですが、私、バドミントン競技の方ですが、例えば、申込んでいるお子さんの内、今日、生徒さんは1人でした。でも、その連絡が回ってこないの、指導者が3人来てしまいましたと。生徒1人に対して、指導者が3人いましたとなった時も、やはり出向いてきた人たちは、その時間、いろいろ工夫しながら教えてくれているようですが、生徒さんが1人とか2人の時に、1人か2人だけで対応できるのではないかなと思うことがあったのですが。例えば事前に人数が分かって、今回指導者は2人でいいですとか、4人必要ですとか、何かそういう連絡っていうのはできるものでしょうか。</p>
香遠教育長 鶴間社会教育 課長	<p>鶴間課長 バドミントンの例で今ありましたが、指導者の方には参加者の一覧っていうのは、指導者の代表の方にお渡しさせていただいておりまして、ただその中で当日、何人来るかっていうのは、事前にこちらの方に連絡があれば指導</p>

	<p>者には伝えております。この日、Aさん、Bさんは来れませんっていう連絡がありましたっていうようなことはお伝えてしておりますが、当日の欠席とかそのようなものについては、指導者の方に一任させていただいておりますので、例えば5人来る予定だったけど、当日欠席4人がいて、結局1人になったっていうようなこともあり得てしまうのかもしれないです。我々の方、今の現状ではその謝金については人数制限っていうのは設けておりませんので、基本的にバドミントン全体で、例えば10人の生徒が通常申込んでいたということであれば3人指導者を出してください。で、3人確保しましたっていうことであれば、その3人分の謝礼は支払っているということで、1人に対して3人で教えた場合でもその3人分の謝礼っていうのは、今現在は、出させていたideはしておりますが、事前にその辺、何人でいいですっていうようなところまで、こちらから示すことがなかなかできないというような状況です。当日の欠席者が分からないというような状況です。</p>
<p>後藤委員 鶴間社会教育 課長 後藤委員</p>	<p>そうなんですネ。</p> <p>はい。</p> <p>なかなか連絡を取り合うって大変だとは思いますが、申し訳ないような気がしまして、1人しか来ていないのに3人の指導者。そしてこの後、月4回と増えていった中で、指導者に対しての謝金っていうのも、4回となれば、そっちに充てる額っていうのも必要になってくると思いますし、その辺りを何か上手く回せないものなのかなと思ひまして、それで伺ってみました。</p>
<p>香遠教育長 鶴間社会教育 課長</p>	<p>鶴間課長。</p> <p>あのおっしゃるとおりで、その辺り他のクラブの方からも何か上手く、特に参加者をまず把握したいというような、やっぱり指導者として当然思っているのですよね。なかなか実際、連絡もなく来なかったっていうようなこともあれば、指導者の方から心配して、連絡先の電話番号に電話するけど誰もでなかったっていうようなこともあったり、なかなか指導者の方も不安だったりっていうようなことが多いというか、あると聞いております。</p> <p>今年度、お試しで、まだ指導者の方にも正式に紹介はしてないのですが、アプリみたいなのを入れて、部活動アプリみたいなのがありますが、それを指導者とその生徒が登録することで欠席の報告とかをアプリ上でできるっていうようなそういうアプリを試験的に今導入してみたいということで考えております。ただ、その端末がいるとか、そういう条件もありますので、なかなかそれを必ず使いなさいということは言えないので、とりあえず今年度はその導入、それをやってみたいチームから導入していただこうかなというふうに考えてるところですが、そういうものを駆使しながら、こう上手く生徒の参加者数の把握とか、そういうものができるようになっていくといいなと考えているところです。</p>
<p>後藤委員</p>	<p>はい。分かりました。いろいろ工夫していただきありがとうございます。すみません。もう一点いいですか。</p>

香遠教育長 後藤委員	<p>どうぞ続けて。</p> <p>今年度から小学校5・6年生も参加できるというお話でしたが、とても良くなって思っていて聞いておりました。このエンジョイ型にSEAの野球、バドミントン。指導者が入って、エンジョイ型なので楽しんで競技に参加できるというのはとても良いことなのだと、これもそう思いながら見ておりました。</p>
香遠教育長 鶴間社会教育 課長	<p>このクラブの地域移行が開始される時に、このSEAの方たちに部活動の地域移行に携わっていただくというところで、佐渡に来ていただいたかと思うのですが、SEAがそのスキップ型の部活に関して、今年度どのような参加の仕方をしていくのかを、もし分かりましたら教えていただきたいなと思います。</p> <p>鶴間課長</p> <p>おっしゃるとおり、このSEAスポーツ国際交流員につきましては、この部活動の地域展開に係るものの市の目的として昨年度から来ていただいております。令和6年度につきましては、まだ来たばかりということだったのですが、積極的にまず学校の部活動を見て回る、それからそこに入っていきようなところもありましたし、それからこの地域クラブ活動についてもスキップ型の野球であれば野球の各会場を週変わりというか、月変わりで回っております。ただ、この各会場には当然その指導者というものが設定されておりますので、SEAが主になるということではなく、その指導者の方の補助みたいな形でSEAも一緒になって取り組んでおりますし、今年度につきましても、そのような形でスキップ型の方にはSEAも回っていくというようなことを想定しております。ただ、SEAのメインの教室も欲しいなというところで、今回エンジョイ型に初めての子もしくは初心者の子でも気軽に参加できるようなエンジョイ型のところにもSEA枠を設けたということです。</p>
後藤委員 香遠教育長 委員全員 香遠教育長	<p>はい。分かりました。ありがとうございました。</p> <p>他いかがでしょう。</p> <p>質疑なし</p> <p>他にはないようですので、これで佐渡市地域クラブ活動、終わります。</p> <p>では次に、報告事項3「前期図書館ビジョン実施計画評価について」事務局の説明を求めます。</p>
村岡中央図書 館長	<p>村岡館長</p> <p>佐渡中央図書館、村岡と申します。よろしくお願ひいたします。最初に誤字がありましたので修正をお願いしたいと思います。大変申し訳ありませんでした。報告資料の11ページの1番下段の総評部分についてご覧いただけるかと思うのですが、カタカナで「コロウ」と書いてあるのですが、カタカナの「コロナ」というのが正式な書き方でしたので申し訳ありませんでした。そういうことで修正をお願いしたいと思います。11ページです。</p>
委員全員	直してある。

村岡中央図書館長

直してあるようですね。申し訳ないです。それでは説明に戻りたいと思います。大変失礼いたしました。

図書館ビジョンにつきましては、図書館の目標となる理念に基づき、あるべき姿ということで平成31年3月に策定され、期間としては令和元年から令和10年となっております。図書館ビジョンを具体的に行うために事業施策及び目標が記載されている図書館ビジョン実施計画について外部評価いただいたものを本日ご報告するものです。

最初に評価方法についてご説明させていただきたいと思います。評価方法につきましては、5段階で行っております。

まず、最初の段階として、各年度指標事業目標が設定されており、その実績に対して図書館の方で自己評価を実施しました。

2段階目として図書館自己評価に対して図書館協議会の委員の意見を聴取し行いました。

3段階目として、図書館自己評価、図書館協議会委員の意見を付したものを外部評価委員に意見をお願いしました。

4番目として外部評価の評価会議を行いました。こちらにつきましては、令和7年3月19日に評価者は、教育委員会の事業の評価もお願いしておる児玉功様、池典比古様のお二方をお願いしたところです。

5段階目として、外部評価会議で行った評価につきまして、令和6年度第2回図書館協議会で報告し了解いただいたものとなります。

以上5段階について評価を行ったものを本日、教育委員会でご報告させていただくものです。

最初に報告事項の6ページ、8ページの方をご覧いただければと思います。こちらにつきましては、令和5年度図書館ビジョン実施計画の評価となります。表の見方としまして、中段のオレンジ色の列が自己評価。右側のピンク色の列が外部評価となります。詳細には読み上げませんが、指標の基本サービスについてはB評価。

1、子どもたちの豊かな心を育む図書館についてはA評価、2、誰もが利用しやすい図書館についてはA評価、3、歴史と文化の学びを支える図書館についてはA評価、4、市民と共に愛される図書館についてはA評価、5、市民の課題を支援する図書館ということで、こちらについては評価者の意見が分かれました。Wi-Fi整備についてや、相互貸借について目標が達成できなかったことから、評価者のご意見が分かれたものとなっております。C評価及びB評価となっております。

総評としましては、コロナ感染下において図書館事業が思うように推進できない状況の中でも、職員の方々は地道な取組を続けてきたと思いますと評価いただきました。また、「決めた目標が適切かどうか」というと難しいのでは。「目標数字に関して修正があっても良いと思う。」「修正が行えるような計画にした方が良い。」「目標数値が適正じゃないと評価が困難な場合がある。」といったご意見をいただきました。

<p>香遠教育長</p> <p>村岡中央図書館長</p> <p>香遠教育長</p> <p>村岡中央図書館長</p> <p>香遠教育長</p> <p>村岡中央図書館長</p>	<p>続きまして、9ページから11ページをご覧くださいと思います。こちらにつきましては、令和元年から令和5年までの前期の図書館ビジョンの評価となっております。表の見方としまして、中段の青色の列が自己評価、右端のピンク色の列が外部評価となっております。この前期期間の評価に関しては、ちょっと特筆すべき点が2点あります。</p> <p>1点目につきましては、前期についてはコロナの影響ということです。</p> <p>2点目につきましては、佐渡市の人口減少であります。コロナ禍では社会そのものが混乱しており、新様式として人と人との接触を防ぐことで拡大防止を図っており、図書館でも感染拡大の際には臨時休館等を行ってまいりました。また、対策としまして、入り口の熱感知器や手指消毒の機械の設置、トイレの自動手洗い、開館前のアルコール消毒等の対策を行って、コロナ禍での図書館の運営を行いました。</p> <p>2点目として、人口減少が想定以上に進んでおると感じております。令和元年につきましては、人口53,563人だったところを令和5年度につきましては48,649人ということで、5年間の中で年間1,000人ずつぐらい人口が減っているというのが状況になっております。令和6年度末の令和7年3月31日の人口につきましては、47,458人となっております。こちらについても、詳細を読み上げませんが、前期の評価につきましては、基本サービスについてはB評価。</p> <p>1、子ども達の豊かな心を育む図書館についてはA評価、2、誰もが利用しやすい図書館についてはB評価、3、歴史と文化の学びを支える図書館についてはA評価、4、市民と共に愛される図書館についてはA評価、5、市民の課題解決を支援する図書館についてはB評価ということでご評価いただきました。</p> <p>総評としましては、コロナ終息後、再出発だという思いで「コロナに取り組んでほしい」、「人づくりを支える地域の学びの拠点として、図書館は何をすべきかもう一度考え直して動き出すチャンスである。」、「高望みを目標とするのではなく、原点に戻って図書館はどのようなサービスがあるか図書館は皆の生活をどう豊かにするか市民に知らせてほしい。」といったご意見をいただきました。前期評価についての説明については以上になります。</p> <p>今ほど、評価結果について簡単にご説明をいただきましたが、ここは単に報告をするだけなのですか。</p> <p>そうですね。一応、報告案件ということで、今日、教育委員会の方に提出させていただいたところです。</p> <p>意見、感想というのは求めているのですか。</p> <p>当然、教育委員の皆様からご意見等をいただければありがたいと思います。</p> <p>意見がでたらそれはどうなる可能性があるのですか。</p> <p>そうですね。この評価については外部評価いただいて、図書館協議会の方で報告しておるところですので、それ自体は変わりませんが、教育委員か</p>
--	--

<p>香遠教育長 加藤委員 香遠教育長 加藤委員</p>	<p>らこういった形でご意見いただきましたということで、この後の図書館運営に関して反映していきたいと考えております。</p> <p>という主旨だそうですが、ただ今の説明に対して、質疑等ありますか。よろしいですか。</p> <p>加藤委員</p> <p>ご説明ありがとうございました。また細かいデータ等も集計したりで、また意見をまとめるのもなかなか大変だったと思いますが、どうもありがとうございました。それで、どうしても評価というと評価の方にかなりエネルギーを使ってしまって、それをどう活かすのかっていうのがすごく大事な部分だと思います。</p> <p>例えば、12 ページの上の段、誰もが利用しやすい図書館について調べた推移が載っているのです。これについての自己評価がC、それから図書館協議会がA、外部評価がBなので、この5段階の内の3つの評価が全部、評価が分かれています。当然、評価者の見方とかいろいろ変わってくると思いますが、そうした場合にCはC、AはA、BはBの当然、理由があると思います。それは評価としてはそうだが、じゃあそれをどう次に活かすのかっていう。もちろんCになったのは、Cになった理由が多分、もちろんコロナがとか人口とあってありますので。その辺を評価だすのが目的じゃないので、出てきた評価をどうしたらAに近づけられるのかってあたりの次の段階、もちろんそれを考えていらっしゃると思いますが、お願いしたいなと思います。</p>
<p>村岡中央図書館長 香遠教育長 村岡中央図書館長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>村岡館長</p> <p>ご意見ありがとうございます。図書館ビジョン実施計画の中でもPDCAのサイクルが書かれておりまして、この評価に基づいて、事業計画を進めていく予定です。</p> <p>また今回、特に評価の方からご意見の中で、コロナっていうところもありましたし、人口減少っていうところがありましたので、その年度途中、計画途中であっても、社会情勢等をこう踏まえて、少し計画修正する余地があってもいいんじゃないかっていう形のご意見もいただきましたので。そういった部分は、この後の後期計画に実施計画の方についても記入させていただきました。また、今後の部分ですが、電子図書館というところも、この後の大きな課題になっておりますので、そういったところについても、この後検討していきたいというところの余地も途中で修正していくって中でこう考えていきたいと考えております。</p>
<p>加藤委員 香遠教育長 瀧川委員</p>	<p>修正が必要であれば、どんどんしていったいいと思います。</p> <p>瀧川委員</p> <p>ご説明ありがとうございました。私の方からは感想と1件。8ページの登録冊数。評価の方にもありましたが、目標値がかなり高いっていうのと、ここで登録者数に関して年代別に分かれると対策のしようがある。例えば保育園</p>

の方で読み聞かせとか、絵本とか、紙芝居とかで触れ合ってきてそこから、一つの社会的スタートで子どもたちが、学校以外にも社会の場として図書館を利用するというので、スタートとして図書館登録をされるとありがたいなと思うのですが、実際行ってみると図書館を利用している保護者の子どもは登録するが、それ以外そうではないって結構、意見として聞くのですが、数字上出てないと、やはり対策の動き、声掛けの必要性がないと思います。登録者数の数がすごく高いにも関わらず、対策とか行動の動きが読めないなんて、去年も同じような意見をしました。

それともう一つ。相互貸借の方の数字ですが、これ、佐渡島外の県立図書館の使用とか、そういった数値ですが、8ページの数字を見ますと、目標数値が2,000となっていて、私はそれを半分が送料、佐渡市が負担するのか。送料自体を個人がもたないので、私も実際、結構県立を利用させていただいています。大人になってから通信大学生になると、年間50冊以上、借りたことがありますので。そう考えると、すごくありがたいサービスなのだなと思いつつ。この目標数値を高くする意味が正直、読めなくて。佐渡市としたら送料がかかるし、お金もかかることですし、新潟市では、デジタル書籍の貸し出しがサービスになっているので。お金のかからないところの数字を伸ばす必要あるのだったら、利用者もそこをだいたい平均的に1,500前後ぐらいをこうやってもいきなり増えた2,000という目標数値が出てきたところに意図を読みだせない。市民サービスがリクエストがあるものに答えるってことはあるが、今だいたい皆さんそのぐらい借りてられる方が特殊な勉強させられてる方たちとか、興味があって、佐渡の書籍だけでは足りずに県立だったり大学だったりの貸し出しを希望している方に答える必要はありますが、そこを数値的に大きく伸ばす必要は目標値としているのかなと思って8ページの数値を見ておりました。

あとは佐渡市のデジタル書籍を例えば、県とか県立、新潟市でやってるところで、同じ登録したら閲覧が可能になるのであれば、そういったサービスとかが増えていったら、佐渡にない書籍も気楽に借りることが、閲覧することもできるのかなと思って拝見しておりました。以上です。

村岡館長

ご意見ありがとうございます。相互貸借につきましては、県立と新潟大学については、ご利用者の負担はないのですが、委員のおっしゃるように県内の他の図書館の本の相互貸借は、佐渡市の負担はありますので、そういった部分で目標数値が必ずしも適切でなかったのかなというご意見で考えました。

また、公立図書館の役割と新潟大学、県立図書館の役割が違っておりました。専門性の高いものについては、県立や大学の図書館っていうところのことです。私ども棲み分けしていたのですが、目標数値がやはりなかなか難しいところがありました。

また、電子図書館については、令和7年2月14日の新潟日報にも記載され

香遠教育長  
村岡中央図書館長

<p>瀧川委員 香遠教育長</p>	<p>ておりましたが、今県内の県立生涯学習課が中心となって、県内の自治体と共に学習会等を開催して、電子図書館運営できないかっていうところを協議している段階で、上手くいけば令和8年8月にはオープンするような形ですが、今まだ負担金とか運営の部分がはっきりしないところがあって、まだ協議をしているというような段階であります。ご意見どうもありがとうございました。</p>
<p>岩崎委員</p>	<p>ありがとうございます。 他いかがでしょうか。 岩崎委員 すみません。図書館の運営についてですが、令和5年度がすごく、実績の目標値とか減少傾向に見られるのですが、私は普段、人と物の動きで仕事しているのですが、その中で、どうしても今までコロナ禍っていうのがあって、時代が変わったっていうのが一つの要因であるとは思いますが。そればかりが、どうしても言い訳になってしまっていて。じゃ、どうするのって、次の段階が、全く見えてないのかなっていう気がしています。</p> <p>例えばこの図書館運営のその上の一番上の資料購入費とか、この辺りの数字は増えていますよね。その次の蔵書冊数っていうのですか。これも本の数増えているのですが、あとはイベント何かもこう充実してきて、郷土資料なんかも充実しているとは感じているのですが、あとは人がやっぱり来てもらわないとっていう。図書館はすでに環境整備もされていて、すごくいい状態ではあると思うのです。それぞれの図書館いい状態ではあると思うのですが、やっぱり人がこう入ってくれないと人が動かないとなかなか図書館も活性化しないと思うので、それをまず考えていただいた方がと思います。あの数字ばかりではなくて世の中の情勢とか、人の動きとか、そういったことも考えて、あと時代背景ですよ。</p> <p>人口減少とかもあると思うのですが、今後はもうどんどん若者も少ないし、高齢の方も少なくなってくると思うので、どこをターゲットにするかっていうのも考えていただきながら、それと図書館の普段、日常で生活している上で、図書館どういった人が活用しているのかなっていうのを見ると例えばこう学生さんであれば、受験勉強とかテスト勉強に使ったりとか、また、それに応じてこう本も借りたいなっていう生徒さんやそういった方も増えると思うので、何かそういったターゲットどこに置くかっていうのを考えていただいた方がいいのかなっていうふうに思いました。以上です。</p>
<p>香遠教育長 村岡中央図書館長</p>	<p>村岡館長 ご意見ありがとうございました。私ども、コロナ禍っていうところは、大きい要素だったのですが、コロナも明けたので、より図書館を多くの方に。ターゲットも絞ってっていうお話もあると思うのですが、そういった中でご利用していただきたいとは考えて、いろんな施策を考えたいと思います。コロナ禍から来館者数は戻ってきておるのですが、貸し出し冊数とか、他の数値が戻りきれてないっていうところもあって、まだ私どもでも分析が不足し</p>

<p>岩崎委員 香遠教育長 岩崎委員</p>	<p>ているところもありますので、そういった中で分析して、よりターゲットとか、幅広い形でのご利用とか、いろんなアクション等を、評価を踏まえてやっていきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>もう一点いいですか。</p> <p>どうぞ。</p> <p>コロナ禍っていう話ですが、コロナ禍によって例えば、家にいる時間が多くて、ネットが、かなり皆さん見られるようになって、携帯電話でも、いろいろな動画サイトとかを見るようになってきたりとか、先ほどおっしゃってた電子書籍とか、おそらくそういうのがあって、手軽にそういうものが見られるようになると、どうしても図書館に足を運ばなくなるっていうのがあるので、そこもやっぱり課題かなって思いますので考えていただければいいかなと思います。</p>
<p>村岡中央図書館長 香遠教育長 委員全員 香遠教育長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>他ありますか。</p> <p>質疑なし</p> <p>他にはなしと認めます。では次に、報告事項4「後期図書館ビジョン実施計画について」事務局の説明を求めます。</p> <p>村岡館長</p>
<p>村岡中央図書館長</p>	<p>よろしく願いいたします。ページ数が、私が持つてる資料と違うかもしれないので申し訳ありませんが、後期図書館ビジョン実施計画につきましては、令和5年度、第3回図書館協議会の中で、議題としてお諮りしてご意見を伺ったところ、前期の図書館ビジョンの評価を踏まえて計画を修正した方がいいのではないかっていうご意見があったもので、先に説明させていただきました、評価を行って、そのあと反省点を踏まえて後期計画を修正し、その後、令和6年度、第2回図書館協議会で報告し、ご了解いただいたものが、今回、後期実施計画として、お手元で報告ということでさせていただいたところです。</p> <p>主な変更点としましては、こちら私のページ数と違うかもしれないのですが、19ページのところに中段のところに(5)っていうところで、指標及び目標数字に関し社会状況の変化等を踏まえ計画途中での修正を検討するっていう、21ページですね。大変申し訳ありません。21ページのところに(5)ということで、指標及び目標数字に関し社会状況の変化等を踏まえ計画途中での修正を検討するというので、前回、前期評価の中で、その途中でも修正できた方がいいのではないかっていう形でのご意見いただきましたので、そういった部分を追加させていただきました。</p> <p>また、22ページのところでは、具体的な指標ということになりますが、人口動態が読めないところがありますが、その登録者数については、人口の3割といった形のもので人口が変わっていく中でも、登録者数を確保していきたいというような形での書きぶりに変えさせていただきました。</p>

	<p>また、図書館ボランティアの連携事業についても、より推進するための事業を追記したところです。</p> <p>また、5番目のところのWi-Fi整備に関しては、おおよその目処がつかまりましたので、その下段のところの利用者、パソコン・タブレットの設置について追記させていただいたところです。Wi-Fiと合わせまして、全ての図書館内でインターネット環境を整備し、調べものができるような形で、ご家庭でインターネットがない方でも情報弱者とならないような形でのものを図書館の方で整備したいと考えておるところです。また、後期につきましては、佐和田図書館がオープン予定なので、子ども若者課と連携する中で、課題解決支援として、子育て支援といった形のものも行いたいと考えておるところです。後期図書館ビジョンの実施計画についての説明自体は以上になります。</p>
香遠教育長	<p>ただ今の説明に対して、質疑等がありますか。</p>
	<p>瀧川委員</p> <p>ご説明ありがとうございました。5年間なので長いスパンでの計画なので、佐和田図書館とか新たな動きも出てきますので、夢を持っていきたいと思っております。それで事業、16ページ、佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館というところの、事業の1の方の赤で書かれている「調べもの学習」という。私も図書館協議会にいる時に、小学校とかでいろいろな勉強、理科とか社会とかでやる時にその辺の情報共有がまだ当時あまりできなかったんですよ。そこが貸し出しも含め、重なったり、多かったり大変かもしれないけれど、「調べもの学習」をタブレットの学習に子どもたち、慣れてたりすると、実はある程度、選んでしまうとAIが勝手に、この子はこういうのが好きだからということで情報を勝手にサービスの的に配信してくれるのが、タブレットの良さだったり、SNSの良さだったりいろいろするのだと思いますが、逆に、大学の教授が一の先に言うことは本を読む力が足りない。昔、芋ずる式じゃないけど、図書館に行った時に自分の調べたいことを調べられない、力が弱いということをまず言われるそうです。「調べもの学習」をタブレットで学習。決められた時間でいろいろやることはありますが、そこをフォローするのが図書館の「調べもの学習」の連携だと思います。そこで面倒くさいというよりも学ぶ楽しさだったり、関連したものとか。あと自分がその関連で知らなかったことの発見をできる楽しみがあるのが、目に見える形で、持って帰れることが書籍だと思いますので。私、イベントいろいろ実施して書いてありますが期待したいなと思って読んでおりました。以上です。</p>
香遠教育長 村岡中央図書館長	<p>村岡館長</p> <p>ご意見ありがとうございました。私も調べもの学習については、インターネットである程度は調べられますが、インターネットで調べられないところも図書館の本で書いてあったりしますので、そういった中で、私どもレファレンスっていった形での呼び方になるのですが、そういったテクニックを子どもたちに教えながら、より子どもたちが調べたいものをこう調べていくよ</p>

<p>瀧川委員 香遠教育長 瀧川委員</p>	<p>うな形のを調べもの学習のような形でやっていきたいと思っていますし、また図書館協議会の委員の1名からは、ぜひ教育長賞とかそういったものを用意して、調べもの学習のなんか評価もお願いしたいといった形のご意見をいただきましたので、よく学校と連携する中で、そういった取組みをやっていきたいと考えております。ご意見ありがとうございました。</p> <p>もう一ついいですか。</p> <p>続いてどうぞ。</p>
<p>香遠教育長 村岡中央図書館長 瀧川委員 香遠教育長</p>	<p>ありがとうございます。佐和田図書館で昨年よく見ていたのが、「高校生に向けての本のコーナー」っていうのをカウンターでよく見て、それ良いなと思いました。中学校の職場体験があるので、年代的に小学校までは図書館利用してて、そこから中学校、高校っていうのは図書館を勉強する場として使いますが、本を借りるっていうところが、極端にカクンと減るところなのです。そう思って、今日、両津図書館を見たら、職場体験のところに「中高生に向けてのコーナーを職場体験で生徒が作りました」ってコーナーをみて、職場体験で自分たちが興味のあるコーナーを作るっていうことと関連付けてやる。これ本当にどの図書館でもやってほしいなと思ってみました。そうすると、自分たちの気持ちで図書館を見ることができると、愛着も持てると思います。せっかく職場体験を受け入れてくださってるので、内容的には自分たちでコーナー作りをしようみたいなことを統一すると、新しい発見でいいのかなと思ってみました。すみません。感想になってしまいましたが以上です。</p>
<p>村岡館長 瀧川委員</p>	<p>村岡館長 ご意見ありがとうございました。あの早速、その職場体験の方にそのコーナー作るような形でいきたいと思っております。ありがとうございました。</p> <p>両津はありましたよ。良かったです。</p> <p>他いかがでしょう。</p>
<p>瀧川委員</p>	<p>瀧川委員 誰もが利用しやすい図書館というところの、15ページのところですが、私の感想なのですが、図書館のカード、携帯に読み込んで、携帯で貸し出したのをレシートもらわずに、自分の方で検索できるようにしているのですが、携帯を持ってない年代だったり、障害者も持ってなかったりするので、私の携帯に何人もの家族の登録があるのです。そうすると番号でしか出てこないのが不便です。ゆくゆく、番号以外に登録者の名前がでると助かります。検索した時にいつも、語尾4つ、語尾これは何とかだったかなって、本借りてるか、借りてないかが携帯1台で5人分の家族を私が覚えることができずに、いつも困っていて。多分、幼い子どもがいるご家庭はは、ほぼお父さんやお母さんの携帯に、全部登録していると思うので、そうすると結局、自分の携帯で見ても、よく分からない。結局、いつもこれ出してもらっていいですかっていうレシートをもらうような形で、一向に紙のロスが続いていくと思うので、もしその登録のところに名前登録もできれば見やすくなるなど、個人</p>

<p>香遠教育長 村岡中央図書館長 香遠教育長 委員全員 香遠教育長 村岡中央図書館長 香遠教育長</p>	<p>的に使用して思った感想をここで、利用しやすい図書館で述べさせていただきました。以上です。</p> <p>村岡館長 ご意見ありがとうございました。システムに関わることなので、業者に聞いてみます。すみません。ありがとうございました。</p> <p>他いかがでしょう。 質疑なし 他にはなしと認めます。村岡館長ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、5分ほど休憩取らせてください。この後、スポーツ文化部との情報交換です。</p> <p>(休憩)</p>
<p>香遠教育長  宇治文化スポーツ課長 委員全員 宇治文化スポーツ課長</p>	<p>再開いたします。報告事項5「文化スポーツ課の組織概要、予定事業について」事務局の説明を求めます。</p> <p>観光文化部宇治文化スポーツ課長 観光文化スポーツ部文化スポーツ課の宇治と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>お願いします。</p> <p>それでは、報告事項5につきまして報告させていただきます。新年度の佐渡市行政組織の改編に基づいて、新年度4月1日より、観光文化スポーツ部の方に、それまで社会教育課の方にありました社会体育、ジオパーク、博物館等がまとまって新しく文化スポーツ課というところで新年度スタートしております。</p>
	<p>1、組織の概要につきましてですが、観光文化スポーツ部小林部長のもと観光振興課、世界遺産課、文化スポーツ課の3つの課で構成されております。</p> <p>文化スポーツ課ですが、職員の方が36名です。課の方は、本庁第2庁舎2階にあります。課長の私、高橋補佐ですが、スポーツ振興係の係長も兼務しております。社会体育係はこの度、スポーツ振興係と名称も変わりまして、職員が4名、所管施設の方が41施設です。佐渡学センターの方もなくなりまして、文化振興係につきましては、2名が配属されております。佐渡ジオパーク推進室の方も、佐渡ジオパーク係になりまして、6名となっております。こちら6名の中には、嘱託の先生と推進協議会の職員2名も含まれております。博物館係です。こちらの方は佐渡博物館内、八幡にあります。佐渡博物館内の中に係がおりまして、係としましては、小木博物館、相川博物館等を含めた22名となります。佐渡博物館内には6名の職員がおります。所管施設は14施設となっております。</p> <p>2、文化スポーツ課の令和7年度の事業につきましてですが、基本、社会教育課にあった時の事業そのまま移行しまして、新年度スタートしているところですが、スポーツ振興係は、スポーツ推進教室の実施、親子スポーツや</p>

	<p>ウォーキングの指導教室などを行っていきます。また、ラジオ体操普及促進等も引き続き行っていきます。文化振興係につきまして、文化振興のイベントを実施。鈍翁茶会や佐渡民謡の祝祭等と実施してまいります。また、文化振興課係直接の事業ではないのですが、今年8月に新潟県文化祭の会場が佐渡市となっておりますので、そちらの方も携わっていきたく思っております。佐渡ジオパーク係ですが、今年度、再認定審査を受ける年となっておりますので、準備をして進めていきたく思っております。</p> <p>また、海を楽しむプログラムの推進、地域の座談会、いろんな地域の方と意見交換しながら、そこの地域の地形的な特徴、そういったものを意見交換しながらこちらの情報も集めていきたく思っています。博物館係です。博物館ビジョンの方を策定、今年度進めていきたく思っております。また、史跡佐渡奉行所跡の改修工事とありますが、今年度は耐震診断を行います。また各博物館使用下におきまして、企画展示の方を進めてまいります。その他といたしまして、今回、観光部局にまいりましたので、部内まず課内もそうですが、部内での情報共有、事業の整理、佐渡市全般的に事業、イベント等が少し立て込んでいるところがありますので、ターゲットが一緒のところは一緒。統合にしたりとか、日をずらしたりとか、そういったところを今回の整理で、より市民の方が参加しやすいような形に持っていきたいと思っておりますし、また、いろんな情報を発信しながら、市民また島外の方にも観光部及び文化スポーツ課で行っていく事業も配信していきたく思っております。引き続き、教育委員の皆さんにはご指導いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。報告は以上です。</p>
香遠教育長	<p>ありがとうございます。ただ今の説明に対して、質疑等ありますか。では私から。今までの説明で、スポーツ振興課の業務はこれまで、ここにあった時と変わらずそのまま移行しているというご説明でしたが、新たに増やしたり、あるいは削減したりということはないということでしょうか。</p>
宇治文化スポーツ課長	<p>はい。すみません。着座にてお答えさせていただきます。</p> <p>今年度、予算計上しました事業につきまして、そのまま執行していきたく思っております。一つ、教育事務所の方で、公民館事業とスポーツに関する部分につきましては、私たちの課の方で最終的に決裁し、実施というところで、各教育事務所の職員にはその辺を、今整理しながら職務にあたっていただいているところでありますし、また市民の方にもそこは混乱しないように情報も発信させていただいているところです。</p>
香遠教育長	<p>その他なのですが、体育館とか社会教育施設の貸し館に関わって、窓口がこの度、少し変わったかと思いますが、支障とか不安な声とかは聞かれていますでしょうか。</p>
宇治文化スポーツ課長 香遠教育長	<p>はい。今のところ特に大きな混乱等は聞いておりませんので、引き続きまた周知等しながら努めていきたく思っております。</p> <p>安心しました。委員の皆さん、いかがでしょうか。</p> <p>瀧川委員</p>

<p>瀧川委員</p>	<p>ご説明ありがとうございます。そちらに移行して、寂しい気持ちがありますが、子どもを育てる保護者の代表として、やはり、佐渡、本当に行きたいイベントがいっぱいありますが、結構重なって行けなかったりという声も聞きます。</p> <p>あとは、スポーツの情報、意外と皆さん年間でやっている子どもたちはわかりますが、いわゆる理学なり、こう人物学なり、他の勉強で大学を決めようかなと思っている時に、佐渡に合うものを学んで身につけていきたいなど思っている人たちがいても、大人の何かその今まで社会教育課でもそうでしたが、講座とかは意外と募集があって、ここに中学生、高校生が行ってもいいのかなって疑問を持ちながらいました。私はこういう立場にいるものだから、息子を連れてどんどん行ってましたが、その時に一般で高校生、書くんですかみたいな登録の仕方いろいろあって、文部科学省の女性の方がいらっやって説明してた時に思いました。年間的に例えば、どんなものを学べるっていうのが統一されると社会教育課だったら、ジオパークとかだけだったが、本当は環境のこととか、ジオのことだったり、佐渡の民俗学だったり、それを知る情報として、学校で高校生対象とかで貼り出すのではなくて、例えば図書館に行くとその年代に向けての情報が一気に見ることができる。夏だったらこういう催し物があるっていうのを何か一般の人たちがネットによって拾うってことは一部の人しかできないが、貸し出しして子どもと親が一緒に見れる場所って、やはり図書館の窓口だったりすると思いますが、イベント情報や講座の情報だったり、ジオパークの年間の情報だったりっていうのは、今プリントをただ平らに置いてバラバラですよ。何か年間予定じゃないが、スケジュールみたいな形で、小学生対象でこういうのがある。中高校生向けでもこういうことができる。一般に向けてこういうことができるみたいなのが、何かこう1つにフォーマットに見られるようなものを、何か見れると、今、課としてはそちらにね、行ってしまってるのですが、一般の家庭としたら同じ状態で見れるのですが、何か統一的に見れることができればありがたいかなと思って。まだ移行したばかりで、1つの保護者の意見ですが。何か一般の人たちが見れるのが公民館だったり、図書館だったり、行政の窓口だったりすると思いますが、そういう時に、そういった表一覧で年間的にこんな形で講座がありますよ、イベントがありますよっていうのが、何か学習のチャンスが増えるなど聞いております。すみません。感想です。以上です。</p>
<p>香遠教育長 宇治文化スポーツ課長</p>	<p>宇治課長</p> <p>ありがとうございます。そういったやはり年間的に、学習の機会を含め、一般の方が一目で分かるようなものを求めていらっやるとしますので、その辺も含めて進めていきたいと思っておりますし、またその年代の方が見られる場所、また社会教育課、教育委員会と連携させていただきながら、手に取っていただける、目に触れるような場所。また検討させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>

<p>瀧川委員 鶴間社会教育 課長 香遠教育長 鶴間社会教育 課長 瀧川委員</p>	<p>ありがとうございます。 すみません。いいですか。 鶴間課長 市報の中で、月ごとだったと思いますが、イベントカレンダー的なのを回してと思いますが、あれをさらに年代別にするようなイメージですかね。 何となく、本当に小学生、親子向けに年間通して、こういうこと佐渡だったら学べるよじゃないですが、一枚ずつ単独ではあります。だからジオだったらジオ講座とか、何とかだったら、こう確実に持って帰れるのですが、何となくそういったものがゆくゆく見れると。</p>
<p>鶴間社会教育 課長 瀧川委員 鶴間社会教育 課長</p>	<p>そうですね。 難しいのかな。 いやいや、ありがとうございます。市の中でも、もともと笠井次長詳しいと思いますが、市の中でも、課ごとにイベントを計画していくものですから、結局それが、日程も重なったり、内容も似たような内容で重なったりとか、そういうような問題があったので、市のシステムの中で、それをみんな入れて、みんなが分かるようにしようみたいな動きもあったのですが、そういうのを市民にも見せれるようになっていくことが、必要なのかなとは思いますが、なかなか課がいっぱいあって、それぞれの情報が横にはなかなかつながっていかないの、どうやったらできるかなっていうのを今ちょっと考えてたのですが・・・。</p>
<p>香遠教育長 笠井教育次長</p>	<p>はい。次長。 この話は、システムとか仕組みの話だと思います。広報がいいか、どこかが音頭を取り、市民の方にも分かりやすいような開示の仕方、それがペーパーレスで、ボタンをポチッと押すと欲しい情報がターゲット別に見える。スポーツなのか文化なのか生涯学習なのか。カテゴリーも含めて、何か良くなる策を考えていきたいと思います。住む・働く・暮らすもターゲット別に分かりやすく、市民向けにも、ある情報をしっかり分かりやすく出していくことは必要だと思います。すぐには難しいかもしれませんが。</p>
<p>瀧川委員 笠井教育次長</p>	<p>課が移ったから何となく注目して、もう一回システム化を。 そうですね。市長部局と教育委員会連携して、やっていくべきだと思います。ありがとうございます。</p>
<p>瀧川委員 香遠教育長</p>	<p>ありがとうございます。 はい。いかがでしょう。</p>
<p>岩崎委員</p>	<p>岩崎委員 先ほど、言われていた発信の仕方だと思います。それぞれ市長部局に移管されたから、スポーツ部門とか文化、ジオパークって分けてその中で、年代別などにすればいいのかなと思います。あと発信の方法ですが、どうしても私などは忙しいと紙媒体の年間予定とか、ほとんどこう見る機会がなくて大</p>

<p>笠井教育次長</p>	<p>体、今ですと、佐渡市からのLINEとか、メールにも入ってきたりするのを開いてみたり、そういったものを活用すれば、ある程度忙しい方とか若い方は多分、見るのではないかと今思いました。</p> <p>情報発信のツールとしては、公式LINEを推奨しているので、そこで発信しつつ、そこにあげる情報としては、ホームページなどの基礎ベースは必要ですので、届けたい人に手段をいろいろな手段を使って届けていくことが重要だと思います。ありがとうございます。</p>
<p>加藤委員 香遠教育長</p>	<p>見たい項目に応じてね、先ほどから、設定でそうするといいですよ。はい。他どうぞ。</p>
<p>加藤委員</p> <p>笠井教育次長</p>	<p>加藤委員</p> <p>意見ということで。文化スポーツ課、新しい課ができました。宇治課長さんもワクワクしてるのではないかなと。文化だけでなくスポーツも入ってということで、どうしても新しいものが動いた時って分からないこともあったり、不安な部分もあると思いますが、またワクワク感もきっとあると思います。動き出した時にこうやって教育委員の中でも情報交換しながらっていうことで、さっそくこの場を設けていただきありがとうございました。</p> <p>それで、お互いに今動き出したとこなので動き出していく中で、やはり文化スポーツ課と教育委員会と一緒にやらなくちゃいけないねとか、ここはこっちに任せていいねとかあると思いますが、やりながらでないともまだまだ分からない部分きっとあるのだろうなと思いますので、その辺の柔軟性というかね。あったらいいなと。当然それは考えてらっしゃると思いますが、例えば先ほどのこの委員会の中でも地域クラブ活動の話がありました。社会教育課が中心にやっています。この文化スポーツの7年度事業の中にもスポーツ振興係、文化振興係があって、そこと地域クラブ活動は社会教育課がやっていますが、佐渡の子どもたちと、あと島外の市外の子も来て体験できるような文化なんかまさにそういうのがあるのかもしれない。その辺も文化スポーツ課を上手に活かしながら宣伝したりとか、やるのは社会教育課だけど、宣伝はこっちでもするとか、例えばですね。</p> <p>あと博物館の係については、博物館全部が教育委員会から行くのかなって私の中では印象だったのですが、先ほどの立派な佐渡市子ども計画いただいた68ページのところに、佐渡博物館を活用した学習支援事業っていうのがあって所管の課は社会教育課になっています。この博物館を活用した学習支援事業とこれ作っているのと分かれて移行、組織を移管すると同時に動いていて、見えてきたところでこれが出ているので、若干その辺のずれなどがあると思うのですが、その辺またこうやりながらここはこっちでやっています、ここは共同でやっています。だからまず、やってる側が分かっていたら。で聞かれても、それを答えられて、あと周知ができれば動けると思うので。今、地域クラブと博物館の例を出しましたが、多分、似たようなことがきっと、動きながら出てくると思うので、あのぜひ楽しんでやってみてみたいなって。</p> <p>子ども計画の策定期間が令和7年3月になります。令和7年4月1日の組</p>

香遠教育長 鶴間社会教育 課長	<p>織改編を反映した所管課となっていないので、読み替えていただくこととなります。ただ、計画自体に修正を加えようとする、一定のコストが必要になりますので、役割分担しながらしっかりやっていきたいと思ひます。</p> <p>鶴間課長</p> <p>先ほど、例で言われた地域クラブ活動、当然私どものところに係ができました。私どもが主にはなりますが、やはり文化スポーツ課と連携しないと進められないというところで、打ち合わせ等も文化スポーツ課と一緒にしながら進めておりますし、実際動き出してみても、例えばSEA一つにしても、部活動地域展開係の中に配属しておりますが、そのSEAも部活動地域、この地域クラブ以外にもいろんなことに取り組んでますが、学校部活動に行くとなれば学校教育課と連携が必要ですし、またSEA、今すごく一生懸命な方が来てくれて、自分で企画して、佐渡の子どもたちにこういうことをやりたいみたいな企画をしてくれるので、そういうのができた時には、今度はその主たる目的は何か。スポーツ振興だということであれば、主は文化スポーツ課に持ってもらって、その中で私どもが協力していくっていうようなことで、こういういろいろなやり取りが実際生じてきております。この先多分、今いう博物館の関係とかも、完全に博物館だから向こうですよっていうわけにはいかないと思うので、この先もどんどんそういうものが出てくるかと思ひますが、丁度本当に仲のいい人たちばかりなので、本当に今は連携がすごく取りやすい良いところでもありますし、いろいろ実際動いてみながら形を作っていくなと思ひております。ありがとうございます。</p>
香遠教育長 宇治文化スポ ーツ課長	<p>宇治課長</p> <p>今、社会教育課長が言っていたとおおり、いつでも相談する時、柔軟に対応していただいておりますので、動いてみてやはり想定してなかったことも出てくる際にはそこで協議しながら進めさせていただきたいと思ひますし、あるいは文化スポーツ、都市部ではないですのでスポーツやりながら明日は鬼太鼓叩いている方々、やはり複合して佐渡にはいっぱいいらっしやいますので、そういう意味でも、今まで別々に発信してたものが一緒に受け取ってもらえる効果もあるかと思ひますので、まだまだワクワクというよりドキドキですが、進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
香遠教育長	<p>他いかがでしょう。他にはないようなので、ここまでにします。本日、いい情報交換、意見交換ができたと思ひます。宇治課長、ありがとうございます。次回の定例会でもお待ちしております。</p>
委員全員 宇治文化スポ ーツ課長 香遠教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございます。失礼いたします。</p> <p>次に、報告事項6「佐渡市学校給食食材費支援補助金交付要綱の一部改正について」に入ります。これは、本日追加でご報告させていただく事項であります。事務局の説明を求めます。</p> <p>計良学校教育課長</p>

計良学校教育 課長	資料の方は 24 ページと 25 ページになります。これが報告事項ということで、事前の取りまとめに漏れておりまして、追加報告となりました。お詫び申し上げます。
香遠教育長 計良学校教育 課長	本件は原油価格であったり、物価高騰で、高騰する食材費、その学校給食費にかかる保護者負担を抑えるための佐渡市の補助金交付要綱になります。先般、市議会の 2 月定例会において、関連予算が承認されたことを受けまして、補助金交付要綱の執行規程…。
香遠教育長 委員全員 香遠教育長	24 ページっていうのもあるのですか。 すみません。大変失礼しました。皆さんの手元を見ず、喋りだしました。その市の予算の方が承認されたことを受けまして、この補助金交付要綱の執行規程を 1 年延長して、令和 8 年 3 月 31 日とするように、補助金交付要綱を一部改正するものです。以上です。
齋藤教育総務 課長	ただ今の説明対して、質疑等ありますか。 質疑なし 質疑なしと認めます。 次に、報告事項 7 「その他」 であります。事務局から報告することありますか。
香遠教育長 委員全員 香遠教育長	特にありません。 委員の皆さんからはありますか。 報告なし ないようですので、日程第 36 「報告事項」 はこれで終了します。 日程第 37 「次回会議の開催日」 について、事務局の説明を求めます。
香遠教育長	【次回の会議は、5 月 19 日（月）に定例会を開催したい旨を説明した。】 以上で令和 7 年第 4 回佐渡市教育委員会定例会を閉会します。ありがとうございました。 午後 4 時 38 分閉会